

担当部署	環境農政局環境部環境課大気・交通環境グループ	電話045-210-4111
A-3	アスベストがなぜ問題なのか。（令和2年4月1日更新）	

【答】

アスベストは、その繊維が極めて細く※、容易に空中に浮遊します。このため、人の呼吸器から吸入しやすいという特徴を持っています。

また、アスベストは丈夫で変化しにくいいため、吸い込んで肺の中に入ると組織に刺さり、15～40年の潜伏期間を経て、肺がんや中皮腫などの病気を発症する恐れがあります。このため、アスベストを吸い込んだことに気づかないまま、病気を発症することがあります。

現在、アスベストばく露に関連があるとして確認されている疾病は、石綿肺、肺がん、悪性中皮腫（胸膜、腹膜、心膜、精巣しょう膜）の3疾患に加え、良性胸膜疾患として、良性石綿胸水（石綿胸膜炎）、びまん性胸膜肥厚があります。これらはいずれも空气中に浮遊するアスベストを吸入することにより発生するとされています。

アスベストは、そこにあること自体が直ちに問題なのではなく、飛び散ること、吸い込むことが問題となるため、労働安全衛生法や大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律などで飛散防止等が図られています。

※クリソタイル（白石綿）の繊維は、径0.02～0.03 μ m、繊維束は径1～2 μ m
 岩綿の繊維は径3～10 μ m、ちなみにスギ花粉は30 μ m
 1 μ m（マイクロメートル）は0.001mm（ミリメートル）

参考 環境省ホームページ 一般啓発用パンフレット
<http://www.env.go.jp/air/osen/law/03.pdf>

東京都ホームページ 東京都アスベスト情報サイト
https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/air/air_pollution/emission_control/asbestos/